

- 1 単元名 効果を考えて書こう
教材名 「ガイドブックを作ろう」

- 2 単元の目標

自分が紹介したい場所などについて、読む人への効果を考えたガイドブックを作ることができる。

- 3 単元について

この時期の児童は、社会科見学や総合的な学習での施設訪問、また、家庭での調理やゲームの攻略法など、これまでの学校生活内外の諸活動を通して、さまざまな種類の施設案内書やガイドブックに接し、その恩恵を受けてきている体験を持っている。

ガイドブックとは、読み手にとって必要な情報をまとめた冊子であるが、だれでも、1回読んでその目的を達することは、まずないのではないだろうか。ガイドブックに接する機会が多くなってきている児童の思いも同様で、「読んだけど、どうやったらいいのかわからない。」という不満の声も耳にする。そのような児童に、ここでは、書き手側からガイドブックに迫らせていきたい。書いてあることがわからないという裏側には、読み方の問題と同時に、書き方の問題も含まれているはずである。

本単元は、ガイドブック作りという実際の場を設定して、書くことに関する目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりすること、また分かりやすい構成を考えたりすることを学習内容とするものである。教材は、ガイドブックを作成する過程に沿って構成され、実作例が例示されている。

ガイドブックは読み手が関心を持って読み、しかも実際に役立つように工夫する必要がある。それは、使う人の身になって構成を考えるということでもある。そのためにまずガイドブック作り全体の見通しを立てたうえで仮の目次を作成しておくことよい。それにしたがって内容を考えていくと、新たに取材すべき事項や必要な写真、パンフレットなどの収集計画が立てやすくなる。

作成にあたっては、児童たち自身で使いやすかったガイドブックを持ち寄って、レイアウトの工夫や編集上の参考にさせたい。さらに、本単元に掲載している「もの知りコーナー」のようなものについても、何が必要かなどの検討を加えて、役立ってしかも楽しいガイドブック作りを支援していきたい。

教科書では最終段階でガイドブックの活用の仕方を話し合う活動を設定している。しかし、ここでの活動を意味あるものにするために、まず単元の冒頭で、だれに活用してもらいたいかということまで含めて考えさせておき、ガイドブックの作成を通して最も望ましい利用のされ方ということについて、児童一人一人が具体的なイメージを持てるようにしておきたい。そのイメージが全体のレイアウトはもとより、目次作り、紙面の大きさ、製本の仕方まで規定することになるからである。

- 4 デジタルコンテンツの活用について

今回、修学旅行用のガイドブックを作成するに当たって、実際にまだ訪れたことのない施設が多く、これまでの旅行体験からの写真やパンフレット、旅行雑誌などを事前に収集するだけでは、学習を展開するに十分な材料にはならないと考えた。そこで、ネット上の情報をうまく活用しながら、より読む人への効果を考えたガイドブックになるように支援できたらと思う。具体的には、昨年度の修学旅行の行程表をもとに、施設や地域、関連する行事などを事前に指導者の方で検索しておき、その中から活用できそうなHPを学習リンク集に掲載する。また、児童自ら検索できるように、検索エンジンへのリンクも作成しておくようにする。操作の支援については、日頃から慣れ親しませておくことが、より自分に必要な情報を

選択できる能力につながると考えているので、授業以外でも自由に操作できる場の設定に心がけ、日常から支援しておきたい。さらに学習の発展として、単元の終わりに、学級内だけの展示コーナーにとどまらず、修学旅行に合同で行く他校にメールやTV会議を通して、自分たちの作成したガイドブックを紹介する場を設定できたらと考えている。

5 単元の指導計画

学習の流れ	時	学習活動	支援・留意点
どのようなガイドブックにするか考えよう	2	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読して活動の見通しを持つ みんなで集めたいいろいろなガイドブックを見る 自分が紹介する場所を決める ガイドブックに書きたい内容を考える 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を手がかりにして、作る目的や見てほしい相手を考え、学習への意欲を高める 自分が行ったことのある場所や施設の資料やちらし、書店や図書館にあるガイドブックなどを集めさせる 目的や相手に応じて、紹介したい場所や施設を選択するよう助言する 内容を考えるときの視点に気づかせ、ガイドブックのおおよその内容を見通すようにさせる
材料を集めて構想を練ろう	3	<ul style="list-style-type: none"> 自分のガイドブックに必要な材料を集める 各ページごとの内容や構成、目次などを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 材料の集め方にはさまざまな方法があることに気づかせる (もってきた資料や写真、旅行雑誌やパンフレット、家族や親戚から聞き取った情報、インターネットなど) 集めた情報をもとに各ページごとの内容や構成、目次を作っていく方法を話し合う
ガイドブックを作ろう	4	<ul style="list-style-type: none"> 各ページを作る 後書きや表紙を作る できあがったガイドブックを読み合っ、感想を話す 	<ul style="list-style-type: none"> 児童がお互いにアドバイスし合いながら書くことができる方法を工夫する いろいろなガイドブックの後書きや表紙、目次などを参考にさせる 後書きに書かれた書き手の思いとガイドブックの中身が合っているか評価させる
活用の仕方を話し合おう	1	<ul style="list-style-type: none"> ガイドブックを見てもらうための活用方法を話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 教室や廊下などに展示コーナーを作ったり、メールやTV会議で他校と情報交換をしたりするなどの活用をアドバイスする

6 本時(3, 4 / 10)

(1) 目標

パンフレットや雑誌、インターネット等を有効に活用しながら、自分のガイドブックに必要な材料を集めることができる。

(2) 指導に当たって

まず、前時までに立てた自分の紹介場所や目次、内容を振り返らせたり、事前に収集した資料に目を通させたりしながら、本時の活動の見通しを持たせたい。しかし、修学旅行ガイドブックといっても、児童にとっては、まだ行ったことのない場所が多いため、事前に十分なガイドブックを作成する情報を得ることは難しい。そこで、児童の情報不足を補うため、ガイドブックに必要な材料を集める一手段としてインターネットがあることを助言していきたい。そのために、教室に2～3台のネット環境を設定し、児童が自由に検索し、プリントアウトできる場を確保しておく必要がある。また、より効率的な学習を進めるため、あらかじめ指導者の方で検索したHPや検索エンジンを活用させながら、児童一

一人一人への情報収集活動を支援していきたい。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点
つかむ	1 前時までの学習内容を振り返り，自分が作成する「修学旅行ガイドブック」を確認する。	↑	<ul style="list-style-type: none"> 自分が紹介する場所や，作成する目次，内容を振り返らせ，それらに必要な情報が，どのようなものであるのか確認させる。
	2 本時の学習課題を確認する。	5	
調べる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> 自分のガイドブックに必要な材料を集めよう。 </div> 3 いろいろな方法を使って，材料を収集する。 <ul style="list-style-type: none"> ・もってきた資料や写真 ・旅行雑誌やパンフレット ・家族や親戚から聞き取った情報 ・インターネットのホームページ 	X	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を参考に，いろいろな情報源や取材方法があることに気づかせ，自分にとって必要な情報や方法を選択するよう助言する。 インターネットのホームページについて，パソコンの操作を支援する。 
	4 収集した材料から，自分の構成に必要な情報を絞り込む。 <ul style="list-style-type: none"> ・お城を治めていた人はだれだろう ・博物館や工芸館の建物の写真がほしいな ・グリーンランドにはどんな乗り物があるんだろう ・夏目漱石の姿が知りたいな 	60	
	5 次時の学習に備え，簡単なガイドブックのレイアウトを作成し，学習のまとめをする。	10	
まとめる	4 収集した材料から，自分の構成に必要な情報を絞り込む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・開演時間や入場料金はのせた方がいいかも ・お城の写真を表紙にはってみよう ・工芸館までの地図は役立つかも ・熊本と夏目漱石の関係を説明しているページは必要だな </div>	X	<ul style="list-style-type: none"> 学習リンク集から調べていく方法を確認する。 【熊本観光マップ】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> http://www.city.kumamoto.kumamoto.jp/kanko/kanko.html </div>
		15	<ul style="list-style-type: none"> お互いに情報交換したり，アドバイスし合ったりすることができる学習形態を進めていく。
		↓	<ul style="list-style-type: none"> 収集した情報やもってきた資料，検索したHPを照らし合わせながら，必要な情報を絞り込み，レイアウトの準備をさせる。
		↑	

(4) 評価

パンフレットや雑誌，インターネット等を有効に活用しながら，自分のガイドブックに必要な材料を集めることができたか。